

手芸の会「コスモス」と絵手紙の会「たんぽぽ」

現在、菅田地域ケアプラザで活動するこの二つの団体、もともとは一団体であったのをご存知ですか？

ケアプラザが開所した翌年の平成12年8月、まず「コスモス」が発足し、“手芸”と“絵手紙”両方の活動を行なっていました。その後、“絵手紙”に取り組んでいたメンバーが自然に(けんか別れではありません)グループとして定着し始め、平成14年4月、絵手紙の会「たんぽぽ」として独立し、活動を始めたのです。「コスモス」が活動を開始した年から数えれば、まもなく丸13年の活動歴。ケアプラザの数ある活動団体の中でも、老舗団体の一つと言えるでしょう。

今回は、二つの団体の活動内容をご紹介します。(活動日・会費等は中面をご覧ください)

手芸の会「コスモス」

現在、9名で活動中。

手芸の好きな人たちが集い、13年もの間にはたくさんの小物を作りました。人形、ブローチ、小物入れ、帽子、ストラップなどなど、その数60種類以上にもなります。

男の料理サークル「やくすぎ」の方々と一緒にうどんづくりをしたり、「ふれあいおやこひろば」でサイコロパズルや魚つりゲームを作って、子どもたちと一緒に遊んだりしたこともあります。

「さて、来月はどうしよう、何作ろっかねえ〜？」となっても、顔を見合わせれば、「これは？」「あれは？」とすぐに案は生まれます。

世間話に花を咲かせながら、楽しく活動しています。ご興味のある方、どうぞ遊びにいらしてくださいね。



絵手紙の会「たんぽぽ」

現在、10名で活動中。

月に一度、一言添えたオリジナル絵手紙を描いています。題材はさまざま。季節の草花や果物はもちろん、ひっくり返ったままのスリッパ、おかずに買った“さんま”なども食べる前に描いてしまいます。感想は思わず「美味しそう」在宅介護の方にさし上げたこともあります。

2代目講師の田中先生には“はがき”のみならず、牛乳パックや納豆パックを土台にして描く作品も教わりました。

和気あいあい、楽しくおしゃべりしながら、活動を続けています。作品は、ケアプラザ廊下のギャラリーに展示してありますので、どうぞご覧ください。お仲間募集中です。

